

# 与那原中学校 美術科シラバス 2学年

## 1 授業のねらい(身に付けて欲しい力)

教科書名 (美術2(日本文教出版))

補助教材「美術資料」

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考える。主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 2 授業の進め方

- ・題材ごとに理論や技法を学習してから制作し、題材終了時に作品を提出する。制作にあたっては、ワークシート やアイデアスケッチを通して構想を練り、見通しを持って取り組む。
- ・鑑賞の授業では、対話型鑑賞や調べ学習型鑑賞など、様々な手法を通して、作品の技法や歴史背景について学習する。
- ・授業初めに、クロッキー練習(素描練習)を行い、描写力を養う。
- ・全体への説明の他に個人添削や机間巡視を行い、生徒それぞれの意図や工夫に応じた指導を行う。
- ・グループでの鑑賞や話し合い等、主体的・対話的を適宜取り入れる。
- ・題材の最後には完成した作品を相互に鑑賞し、意見交換を行う。

## 3 学習上の留意点

- ・授業には、美術バッグセット(給具セット、教科書、資料、ファイル、スケッチブック)とタブレットを持ってくること。
- ・個々の材料や道具には記名をして管理すること。
- ・自分も他者も集中して授業に取り組めるように気を配り、準備や後片付けを徹底すること。
- ・提出物の期限を遵守すること。

## 4 補助教材の活用方法(自学自習の進め方)

- ・アイデアスケッチやプリントを管理するためのファイルを毎学年時に配布する。
- ・画用紙、粘土など、基本的な材料等は授業時に配付する。
- ・題材によっては、上記に加えて各人で素材を持参する。その際は、事前に声掛けを行う。
- ・生徒の意図に応じて、美術室内本棚の図鑑や図書を参考文献として自由に参照できる。
- ・技法の伝達や、表現技法の模索(アイデア)として美術資料、オンライン教材を使用する。

## 5 テスト

- ・単元テストは実施しない
- ・学期ごとに、クロッキーテスト(素描テスト)を実施。

※テストのみで評価が決まるわけではなく、下記の評価の内容と方法で総合的に学習状況をもとって評価します。

## 6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	○材料や道具の特性を理解し、使用することができる。 ○見通しをもって、丁寧な 作業工程である。	○個性豊かな感性である。 ○アイデアなどの発想力が豊かである。 ○表現したい内容に合わせて、材料や	○制作時間の見通しをもって、計画的に取り組む仕上がりすることができる ○最後まで粘り強く取り組むことができる。

	○作品の完成度を高め、仕上げる ことができる。	道具の工夫がある。 ○作品の内容を深く思考し、表現 することができる。	○毎時間のめあてとふりかえりを通して 自身の学習進度を把握して授業に臨 める。
方法	○各課題の提出作品。 ○授業中の制作のようす。 ○クロッキーテスト・ワークシート など 上記の評価内容の項目ごとの満点に 対して A : 80%以上 B : 40%以上80%未満 C : 40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して 『知識・技能』の評価とします。	○各課題の提出作品。 ○授業中の制作の様子。 ○制作途中のアイデアスケッチ。 ○クロッキーテスト・ワークシート等の表 現 上記の評価内容の項目ごとの満点に 対して A : 80%以上 B : 40%以上80%未満 C : 40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して 『思考・判断・表現』の評価とします。	○授業中の様子。 ○課題制作の様子。 ○クロッキーテストの完成度。 ○振り返りシート など 上記の評価内容の項目ごとの満点に 対して A : 80%以上 B : 40%以上80%未満 C : 40%未満 と達成率で評価を算出し、総括して 『主体的に学習に取り組む態度』の評 価とします。

## 7 授業計画(見通しを持って予習・復習の自学学習に取り組みましょう。提出物も忘れずに!)

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学 期	4	・オリエンテーション ・「立志ノートデザイン」 *描画材の特性を実験を通して理解し、使いた くなるノートデザインを学習する。	授業姿勢作品や ワークシート等 提出課題の成績 を総合的に勘案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日使いたくなる立志ノートになるように、 描画材を活かした表現でノートをデザインす る。</li> <li>・毎課題の終わりに、作品を相互鑑賞し、作 者の意図や工夫を感じとり作品の見方を広 げる。</li> <li>・テーマをもとに、主題を生み出す。</li> <li>・表情やしぐさなどを基に、生き物の印象な どを全体のイメージを、材料や用具などの 特性を生かし見通しを持って 創造的に表し ている。</li> <li>・現代美術の美しさ、面白さを感じ取り美意 識を高め、見方 や感じ方を深めている。</li> </ul>
	5			
	6	・「立体表現(しぐさで語る動物たち)【前半】 *動きのある動物を新聞紙で制作する		
	7			
	8	・「現代美術にザワザワザワッ!」 *鑑賞		
	9			
	10	1学期のふりかえり クロッキーテスト・夏休み課題説明・題材設定説 明など	・「手」や「基本形体」などのクロッキー(素 描)を制限時間内に描く。	
2 学 期	10	・「立体表現(しぐさで語る動物たち)【後半】		<ul style="list-style-type: none"> <li>・動物の特徴やイメージを基に 形や色彩、材 料などの効果を考え、創造的な構成を工夫 し 表現する構想を練っている。</li> <li>・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心 情や表現の意図と創造的な工夫などについ</li> </ul>
	11			

	<p>1 2</p> <p>1</p> <p>2</p> <p>3</p>	<p>・日本文化との出会い *ジャポニズムの表現の特色や時代背景をもとに鑑賞を行う</p> <p>*他者の考えを聞いて、作品の見方を広げる</p> <p>・「ひと目で伝わる みんなのデザイン」</p> <p>*ロゴマーク、ピクトグラムについて学ぶ</p> <p>*自分の名前をマーク化し、相手に伝わりやすいデザインで表現する。</p> <p>2学期のふりかえり</p> <p>クロッキーテスト</p>	<p>授業姿勢作品やワークシート等</p> <p>提出課題の成績を総合的に勘案</p>	<p>て見方や感じ方を深めている。</p> <p>・作品を見て登場人物の様子や表情から心情を読みとる。</p> <p>・感じた事や考えを他者に伝えるとともに他者の考えに関心を持ち、作品の見方を広げる。</p> <p>・基本的なロゴマークやピクトグラムの意味を学習し、特徴を理解する。</p> <p>・相手への伝わりやすさとデザインの美しさのバランスを考えて、制作する。</p> <p>・毎課題の終わりに、作品を相互鑑賞し、作者の意図や工夫を感じとり作品の見方を広げる。</p> <p>・「手」や「基本形体」などのクロッキー（素描）を制限時間内に描く。</p>
--	---------------------------------------	--	---	---